

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆいまーるさいじょう		公表日		2025年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	個別対応やカムダウンができる部屋がある。人数や活動内容によって構造化を行っています。	利用者様の人数に応じてレイアウトを考え対応しています。今後も利用者様の人数に合わせスペースとのバランスを考え工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	状況に応じて対応を変えています。	状況に応じて職員の配置等を行っていますが、今後も適切に配置をし安心してご利用頂けるよう努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	提示物は近くで見ることができ、手に取ることもできる距離に配置しています。	一人ひとりの特性に応じた構造化に努め、安心して過ごしてもらえるよう工夫していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃、アルコール消毒の実施をしています。	今後も気持ちよくご利用頂けるよう清潔・感染予防に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	クールダウンができる場所、お部屋を用意しています。	今後も利用者様の様子や要望に応じて個別の部屋を活用しながら過ごしてもらえるよう努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	課題から目標を立案し、実施、修正や継続などを職員で考えるようにしています。	全職員が参画はできていないこともあります。意見や話し合い、共有の時間を確保できるように工夫していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	業務改善について話し合いを行っています。	保護者向け評価の結果を真摯に受け止め、全職員で業務改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎日のミーティング、施設内研修で行っています。	毎日のミーティング等で意見を交換していますが、共有できていない部分もあるので定期的な職員会議を開催し改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者による外部評価は行えていませんが、業務改善への意識はもつようにしています。	外部評価時には、指導のあった点の改善を行っていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	施設内研修を行い、外部研修にも参加できるよう対応しています。	全職員に施設内研修が受けられるよう取り組んでいます。また、外部研修に参加し研修の機会を今後も確保していきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	今のところ支援プログラムの作成、公表はされていません。	義務化に向けて作成の準備を進めているので、公表された際は職員周知と意識統一を行い支援に繋げていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	利用時の送迎時に保護者様と近況の情報交換を行っています。	今後も個々の情報を把握し、利用者様が到達目標に近づくよう努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援会議や日々のミーティング時に子どもの状況を確認し、職員間で情報共有をしたうえで、共通理解のもと支援が実施できるよう計画書の検討を行っています。	今後も職員が共通理解をし、利用者様が安心できる場で楽しく過ごしながら成長出来るよう努めます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間に共有できるよういつでも確認ができる場所に設置し、声かけを行っています。	計画内容について十分に共有ができるよう努めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	発達検査等を受けられている方には検査結果を共有していただけるようお声かけさせていただいています。	標準化されたツールの読解や分析ができるよう、職員の資質向上に努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	計画の中では5領域を含めた本人支援・家族支援等を記載しながら具体的な支援内容を含め立案しています。	放課後等デイサービスガイドラインに沿って項目ごとに個々の発達段階に応じた具体的な支援を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	月の担当者が毎日の活動内容を考えそれを職員間で見直し検討したうえで作成しています。	今後もイベント活動の立案は全職員で行い共有していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	内容の確認、改善をミーティングで話し合いをしています。	今後も活動プログラムが固定化しないよう職員間で共有してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々の特性・能力に応じて無理なく活動に参加できるように支援の中に組み込んでいます。	一人ひとりの特性に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ実施していきます。サービス計画にも分かりやすく記載していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	打ち合わせを行い、内容や方法の見直しを行っています。	日々のミーティングの時間を大切に、チーム連携に努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	ミーティング時の話し合いは活発。振り返りを行い課題に関しては改善に努めています。	支援後のミーティングの振り返り時間を大切に、次の支援につなげて行けるようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	その日の利用者様の様子・送迎中の様子をケア記録に正しく記録するように努めています。	誰が見ても分かりやすい記録の取り方を目指していきます。また、日々の支援の検証を行いながらご利用様にあった支援を提供できるよう努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6か月に1回モニタリングや話し合いを行い適切な見直しができるよう努めています。	サービス計画の見直しが必要な場合は、全職員で会議を開催し、適切な見直しと利用者様の現状にあったサービス計画の作成を行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	支援会議にてそれぞれの役割を把握して支援しています	全職員が放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を理解し、利用者様に合った支援を実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	余暇やイベントを通じて、自分で考えて遊び、決定する機会を設け、活動する中で自己決定していく力を身に付けてもらえるようにしています。	職員がサポートを行う事もありますが、利用者様の自己選択・自己決定の力を育てられるような工夫を今後も行っていく予定です。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者や担当者が参加しています。参加する際には利用者様の状況を事前に話し合い詳しい状況がお伝えできるよう留意しています。	今後も利用者様の様子やこれからの課題などをお伝えし、支援の方向性を連携して考案できるように努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	開催時には参加しています。	関係機関との会議には積極的に参加し、連携を図るよう努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎時やケース会議等で情報をいただいたり、利用時に学校行事予定をいただいたりしています。	今後も学校お迎え時は、担任の先生との情報共有を行い、職員への周知を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	支援方法の引継ぎなどをご家族を通して行っています。	今後は、相談員さんにも提案をさせていただき積極的に参加していくようにします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	情報提供等の開催時には参加しています。	現在、学校を卒業する方がいませんが、事業所移行の際は、支援内容等を情報共有を行っていき円滑に移行できる仕組みを作っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	機会を得れるよう情報収集を行っています	今後の課題として、連携や助言を受けられるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	地域内での公園へ行き活動を行っていますが、地域の子ども達との関わりまではできていません。	現在、児童クラブや地域の子どもさんとの交流はできていませんが、今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	機会を得れるよう情報収集を行っています。	西条連絡会への参加を行いながら情報収集を行っています。今後も連絡会の参加を行いながら、情報収集を行っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	担当者会・モニタリング以外でも送迎時や連絡帳などで情報共有が出来るよう心掛けています。	今後も保護者様とのコミュニケーションの場を大切に、共通理解をもって支援につなげていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	個人的相談の場合、適切な助言や説明ができるよう努めています。	ご相談があった保護者様とはお話ししていますが、全体的な家族支援については実施していないので、今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行っています。	契約時には、分かりやすく丁寧な説明ができるよう今後も努めていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者様からのご意向は職員間で共有するようにしています。また、利用者様にとって何が必要か、どこまでをサポートしたら良いかを考えるようにしています。	利用者様の成長や自立を考え、最善の利益が何かを常に考えながら支援ができるよう努めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	契約時、ケース会議、送迎時、電話対応にて補足しています。	丁寧な説明を心掛け、今後もサービス計画の説明をしていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	担当者会議とは別に時間を設定させていただき、保護者様のお話を伺う機会をもつことができてきています。	保護者様が悩みや相談がしやすい環境を作るとともに適切な助言や対応ができるよう職員の資質向上を図っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4	集団活動時にきょうだい交流していますが、保護者会や父母の開催は行っていません。	現在、保護者会やきょうだい同士での交流の機会が設けることができませんが、今後は実施していけるよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情やご意見があった際には、その日のうちに対応するよう努め、職員にも共有ができるようにしています。	ご指摘やご意見があった時には、お時間をいただき保護者様にご納得いただける対応や体制がとれるよう努めます。また、同様の事例を繰り返さないよう共有していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページ、SNSを活用しています。	利用時の様子は、SNS等で配信を行っています。今後も定期的に発信をしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	SNS発信の際は、ダブルチェックを行っています。また個人情報となるもので不要になったものは必ずシュレッダーにかけています。	今後も社内研修、新人研修を実施していき個人情報の取り扱いを徹底していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	連絡コメント記録に記載し電話でわかりやすくお伝えしています。	1人ひとりに合った情報伝達や意思の確認等を行えるよう日々利用者様との関わりを大切にしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域の方を招待した実績は今年度はありませんでした。	現在、地域との交流活動は実施していませんが今後の課題として受け止め、地域に開かれた事業所になれるよう工夫していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	利用者様の安全を確保するため迅速適切な対応ができるように研修をしています。	マニュアルは策定していますが、保護者様や職員への周知は十分できていないので、今後は送迎時やSNS等を活用し発信していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPに基づいて利用者様の安全を確保するため迅速適切な対応ができるように研修をしています。	研修と訓練を実施していますが、今後も職員の意識を高め迅速に対応できるよう努めていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	ご契約時等に既往歴や服用、てんかんの有無を伺うようにしています。	服薬・てんかん発作等については、契約時に確認を行っていますが、予防接種までは確認できていないので、保護者様との情報共有を今後も行っていきながら把握できるよう工夫していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	医師の指示書がある場合には指示通り行うようにしています。	アレルギーの有無については契約時に確認を行い、チェックを厳重にしています。今後もチェックを怠らないよう努めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成していつでも確認ができるようにしています。	送迎時等利用者様や保護者様が安心して過ごせるように今後も研修や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	送迎時に情報共有しています。	今後も保護者様と連携を図り安全計画の取組み等を詳しくお伝えできるよう努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを作成し再発防止に努めています。	ヒヤリハットの作成については、職員の意識も高くなってきています。今後も作成を行いながら再発防止に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	委員会の設置や説明、研修等を行い、虐待に関する知識を深め、防止できるよう対応しています。	今後も、職員研修や外部研修に参加し、虐待防止の意識を全職員高めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	拘束が必要となった場合、保護者様に同意を得てマニュアル通り行っています。	やむを得ず身体拘束を行わないといけなくなった場合は、保護者様に相談し同意とご理解を頂けるようにします。	